

赤い羽根 へぐり

助成を受けた団体からの ありがとうメッセージ

— 令和4年度 赤い羽根共同募金助成事業報告 —
〈令和3年度にご協力頂いた募金で、令和4年度の事業を実施しました〉

令和3年度募金総額（令和4年度事業実施）

1,931,161円

1,369,161円 466,000円
（平群町の地域福祉事業に） （奈良県の地域福祉事業に）

96,000円
（事務費に）

令和4年度募金総額

1,932,396円

1,370,396円 466,000円
（平群町の地域福祉事業に） （奈良県の地域福祉事業に）

96,000円
（事務費に）

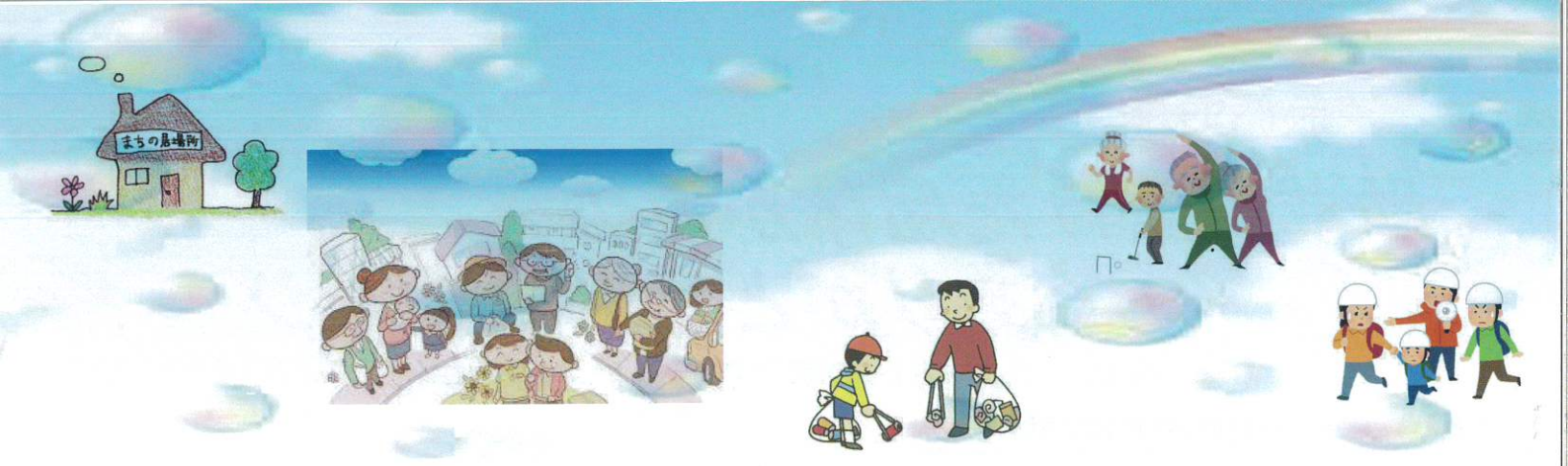
今年度も、10月1日～3月31日までの期間、『赤い羽根共同募金運動』が展開されます。共同募金は地域で暮らす誰もが安心・安全に暮らせる社会づくりを支えるため、社会福祉施設やボランティア活動など多くの民間福祉活動を支援しています。皆様のご協力によりお寄せいただいた募金は町内の地域福祉を支える貴重な財源となっております。

新型コロナウイルス感染症の長期化による影響が広がる中で、経済的に困窮する人や社会的に孤立する人の増加の固定化が大きな社会問題となっております。また近年、日本各地で地震や豪雨などの災害が多発しており地域で支え合う取り組みが一層重要となっております。

このような状況において、赤い羽根共同募金が大切にしてきた支え合いによる地域福祉活動の実施の幅が狭まってきておりますが、活動に制約を受けつつも「つながりをたやさない」を合言葉に寄附者の皆様に「よく見え・よく分かる・身近な運動」として積極的に運動を展開いたしました。

令和4年度中に平群町共同募金委員会より助成を受けて事業を実施した団体からご協力いただきました皆様に「**ありがとう!**」の感謝の気持ちが届きました。助成金の使いみちのご報告をかねてご紹介させていただきます。

平群町共同募金委員会



平群町地域福祉事業助成内容 助成金総額 1,400,725 円

以下の団体に助成されました。

※令和3年度事業によるコロナ影響等の中止・縮小された事業の返還金を令和4年度事業に繰越活用（平群町自治連合会・平群町ボランティア連絡協議会・平群町民生児童委員協議会）

No.	団体名	使用目的	助成金額 (円)	No.	団体名	使用目的	助成金額 (円)
1	平群町自治連合会	「まちづくり」に関する公開講演会事業	240,000	7	平群町民生児童委員協議会	次世代育成事業	123,600
2	平群ホテルッチの会	ホテルの増殖事業	90,000	8	平群町社会福祉協議会	ボランティア協力校活動費助成	280,000
3	日本ボーイスカウト奈良県連盟 きたやまと地区生駒第3団	災害時の対策講習会事業	60,000			小地域ネットワーク連絡協議会運営強化事業	120,000
4	平群町長寿会連合会健康部	高齢者健康づくり事業	41,697			共同募金活動推進事業	231,161
5	平群町長寿会連合会 高齢者相互支援事業部	高齢者相互支援事業	34,267				
6	平群町ボランティア連絡協議会	第20回竹あかりの集い事業	180,000				

※助成金総額は、下記の返還金を差し引いた金額です。
返還金は次年度の共同募金活動に活用させていただきます。

平群町長寿会健康部 : 18,303円

平群町長寿会相互支援事業部 : 103,733円

平群町民生児童委員協議会（次世代育成事業）: 83,385円

温かいご協力に心より感謝申し上げます。

平群町共同募金委員会では、今後も地域で助けを必要としている方々のために活動するボランティア団体等へ財源面で応援すると共に寄附者の皆様へ「よく見え、よく分かる、身近な運動」として共同募金活動を展開してまいります。

赤い羽根共同募金に皆様の温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



地域の活性化を目指して

歴史と伝統を振り返りながら、町の魅力を再発見し、各地域に対する誇りや愛着を育み“まちづくり”について考える事を目的として、毎年、防災や福祉などの住民生活に身近な題材について、地域の取組みや活性化の契機となるような公開講演会を開催しています。

今年度は講師に名越康文先生（精神科医）を迎え、【「ウィズコロナ」が導く、より良い生き方のヒント】と題して講演会を開催しました。広く町民に参加を募集したところ119名の申し込みがあり、大盛況となりました。

今後とも、ご支援いただきますようお願いいたします。

NO.2 【カワナ及びホタルの増殖事業】

平群ホタルツチの会

“ホタル”を飛ばして町の環境向上に近年ホタルの河川等で飛翔の減少が著しく、何としても町にホタルを飛ばしたい、環境を良くしたいとの思いから、共同募金の助成金で、ビオトープの施工と給水ポンプの配管の工事により、ホタルの餌になるカワナナの養殖ができ、ホタルを育て、飛ばすことができました。

自然に近い環境で、生育することができ今年も50匹のホタルが飛翔しています。現在はホタルの幼虫を購入し育てていますが、今後も共同募金助成金を活用させていただき、町の環境を向上させるため努力してまいります。



NO.3 【災害時の対策講習会事業】 日本ボーイスカウト奈良県連盟 きたやまと地区 生駒第3団



防災意識の向上を図る

災害はいつどこで発生するか分かりません。発生した時にどうすればいいかを常日頃から考えておくことが大切です。

ボーイスカウト第3団では、町内の子どもたちを中心に楽しみながら学べるよう、災害時に役立つテントの設置やいざという時に役立つパラコードを使ったブレスレット作り、救急法などを行い、防災意識の向上を図りました。

皆様方からのあたたかい共同募金の助成金を活用し、少しでも町民の方々のお役に立てるよう、この活動を続けていきたいと思っております。



2022.11.22 138回健康ウォーク 竜田公園

いつまでも「自立した生活」を送るために

コロナ禍の中、高齢者の健康づくりに取り組み、いつまでも自立した生活が送れるように、健康診断・歯科検診を啓発し、生活習慣病の早期発見や予防に努め、健康ウォークを実施し、密を避け野外で自然と歴史に触れることで心のケアになりました。

また、体力測定会を開催し、体力の維持向上に努め、女性部との合同研修会ではコロナ禍での「フレイル予防と自宅でできる簡単体操」を開催し、フレイル防止の意識向上につながりました。

これらの取り組みで一定の成果を得ているものと確信しております。これも共同募金の助成金に負うところが大きく感謝しております。今後も引き続き、ご理解とご支援をお願い申し上げます。

高齢者生活の支え合い
(安心して地域で暮らすために)

平成30年4月に高齢者相互支援事業部を発足しました。『見守りチーム』『おしゃべり食堂』『家事支援』の以上3つのチームを立ち上げました。

『見守りチーム』は、勉強会に参加しました。『おしゃべり食堂』は、地域で6回開催できました。『家事支援』は、普段簡単にできていたことが、できなくなった作業(草刈りなど)、人の手助けがあれば簡単にできること(困りごと)など、2人1組で実施しました。これらの取り組みで一定の成果をあげていると確信しております。

この事業に、貴重な共同募金の助成金を使わせていただきました。心から感謝申し上げます。



～鎮魂と防災意識の向上をめざして～

このたびは、共同募金の助成金をいただき、ありがとうございました。防災講演会やバケツリレー、平群中学校吹奏楽部の演奏、おもちゃ病院、体験コーナー(ロープワーク)などを行いました。最後にLEDランプで『絆』の文字の点灯を行いました。たくさんの来場者に参加いただき盛大に第20回を締めくくることができました。

阪神淡路大震災をきっかけに犠牲者の鎮魂と防災を目的に続けてきました。今回をもって一旦終了しますが、今後も町民の皆様には防災や減災の意識を持ち続けていただくことをめざし、次年度は新しく企画運営(へぐり防災フェスタ)を行ってまいります。

今後ともご支援の程よろしく申し上げます。





次世代を担う子どもたちへの
メッセージ

本年度も薬物乱用防止講演会では、オンラインにて開催しました。受講した生徒が実際に薬物を使用してしまった方からの話を聞き、危険薬物に手を出さないと覚悟した感想をいただきました。また、「ダメ。ゼッタイ。薬物乱用！」の印字されたクリアファイルをパンフレットとともに配布し、啓発活動を行いました。

赤ちゃん誕生おめでとう訪問では、ベビー用品のプレゼントを届けることができました。また、社会福祉協議会が行っている、生活困窮者等様々な課題を抱える家庭へ食材提供をツールにつなぎづくりをしているCOCORO便対象家庭の子どもたちへ、共同募金の助成金で購入させていただいたプレゼントを社会福祉協議会職員より届けることで、つながることができました。それと同時に身近な相談相手として民生児童委員・主任児童委員がいることを知っていただくことができました。

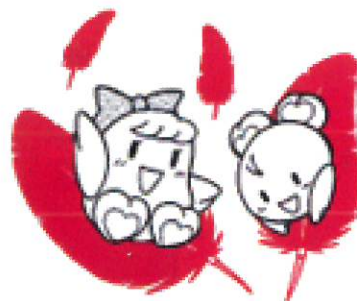
ありがとうございました。

子どもたちの豊かで優しい心を
育むために

町内の各学校において児童および生徒のボランティア活動推進の一助とするために助成交付を継続しています。園庭に草花を植え、清掃活動をし、学校生活を豊かにする活動ができました。

また、命の学習を行い、「いのちの大切さ」「個性を認め合う」ことの大切さを学びました。救命救急の講習を受け、いざという時に自分に何かできるかを学ぶことができました。

次世代を担っていく子どもたちにボランティア精神を養う機会となり、助け合いの精神が高まりました。今後も福祉活動につながる学習を行い、積極的に活動の取組みを行っていきます。ありがとうございました。





止まっていた地域活動を再スタートするため

今年度も引き続きコロナ禍による活動が制限される中でのスタートとなりましたが、地域活動の再スタートとなるようお願いいただいた共同募金の助成金を活用しました。地域で千羽鶴を折る「RE:スタートプロジェクト」を実施しました。

また、地域の活動を動画で記録し、ネットワーク未設置の地域へも見ていただけるようiPadを購入させていただきました。

本当にありがとうございました。

地域福祉活動に『つながる』機会となるように

昨年に続きコロナ禍が長引き、厳しい社会情勢の中にもかかわらず、今年も自治会・企業・学校関係など、一人ひとり心のこもった寄附をいただくことができました。今日まで、つながりをたやさないよう丁寧に共同募金活動を行ってきたことで地域にご理解を得られた成果だと実感しております。今年は子どもから大人までより多くの方に共同募金に参加していただく手法として平群町イメージキャラクター長屋くん・左近くんと共同募金がコラボした缶バッジを制作しガチャポン募金としてイベント募金会場にて設置し、地域福祉活動に『つながる』機会となるよう取組みを行いました。コロナ禍において急速にオンライン化が進みましたが、誰もが安心して暮らせる地域づくりのため今後もより一層丁寧な説明・対応を行い、より深く共同募金のしくみを寄附者に理解していただくことにつながるよう、努めていきます。

皆様のあたたかいご支援・ご協力に感謝申し上げます。



平群町共同募金委員会

〒636-0914 奈良県生駒郡平群町西宮2-1-6

(平群町社会福祉協議会内)

TEL 0745-45-5710

FAX 0745-45-7363

E-mail office@heguri-shakyo.or.jp



当会の「ありがとうメッセージ」は赤い羽根共同募金の助成を受けて発行しています。